

特集


種苗交換会受賞者の喜びの声

10月29日から11月4日まで鹿角市で開催された、『第138回秋田県種苗交換会』において、当管内から多数の秋田県知事賞

(1等賞)が選ばれました。

ここでは受賞された方々の喜びの声や、農業にかける思い、今後への意気込みなどを掲載致します。



 **今野 良毅さん**
(能代市浅内字成合下)



ネギ(夏扇パワー)
農林水産大臣賞及び
秋田県知事賞

経営規模

○ね ぎ………60 a
○水 稲………3.0 ha
○キャベツ………40 a

ねぎを栽培して17年目を迎える今年見事、最高賞の農林水産大臣賞を受賞したベテラン農家の今野良毅さん。今年、高温や干ばつなどの天候不順で栽培が難しい年でしたが、今野さんの『白神ねぎ』は「品質の高い秀品」と評価されました。今野さんが手掛けている『白神ねぎ』は、当JAが販売額10億円を目標に生産・販売に力を入れている作物です。全県での生産量も当JAが約7割を占めており、全国的な産地として知れ渡ってきています。

・受賞の感想

「まさか農林水産大臣賞を受賞するとは思っていませんでした。出品した『白神ねぎ』は種まきから定植、収穫まで順調に生育したもので、品質には自信がありました。」

毎年、種苗交換会には出品していますが、3等以内なら恥ずかしくない品質だと思っています。今回の賞は、ねぎ部会員同士の情報交換や励ましがあったからこそ取

れた賞だと思いません。」

・栽培への取り組み

「今年は干ばつの影響で、水かきなどの作業に大変苦労しました。露地栽培なので、天候によって生育に大きく影響が出ますが、適期防除や圃場の巡回など自分にできることは必ずやるよう心がけ、高品質な『白神ねぎ』を栽培するようになっています。また、疑問があった場合も自分の考えだけで動かず、JAの営農指導員から情報を提供してもらっています。」

・今後へ向けて

「JAの規格、指導通りの『白神ねぎ』を出すのが生産者の役割だと思っています。買う側に立つて自分が買いたいと思うような『白神ねぎ』をこれからも作っていきたいです。」

